

## 令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第四小学校

2. 令和5年度 学校における自己評価（簡条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方とのつながりをさらに深めること、また、地域の施設を知ることによって地域のよさを見つめることができた。</li> <li>・低学年、中学年、高学年で大事にすることを明確にし、6年間を見通した指導計画づくりを行うことができた。</li> <li>・翌年度にも活動をつなげていけるように「地域人材リスト」を作成し、校内での情報共有を図ることができた。</li> </ul>
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の取組を地域、保護者へ発信していく機会が少なかった。</li> <li>・協力してくださる方との連携をどうやって続けていくのかを考えるとともに、お互いに持続可能な形で活動していく方法を見つけていく必要がある。</li> </ul>

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
39.9%	39.9%	11.1%	2.4%	7.5%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
30.1%	44.8%	3.5%	0%	21.6%